

十和田湖観光の再生に向けて

自主・自立による継続的な地域形成に取り組む地域を、国が援助する制度に「地域再生制度」があります。この地域再生制度による支援の1つとして、平成19年1月に、十和田湖畔地域に新たな魅力を加え、観光を振興しようとする目的で、国・県・市や地元団体が構成するプロジェクトチーム（十和田湖観光再生検討会）を設置しました。

＜十和田湖観光再生検討会のメンバー＞

国	県	地元団体
国土交通省 厚生労働省 環境省 水産庁 林野庁	観光企画課 保健衛生課 水産振興課 上北地域県民局	社団法人国立公園協会 十和田湖増殖漁業協同組合 十和田湖商工会 十和田湖観光協会



6月25日の意見交換会のようす

この検討会では、平成17年度は291万人だった観光客を、平成23年度までに330万人（平成15年度並みの実績）に増やすため、十和田湖の観光をどのように再生するか検討しています。

この中で、まず関わりの深い十和田湖畔地区の皆さんの意見をもとに、「十和田湖ならではの魅力」、「十和田湖観光に求めること」などを地域全体で確認し、共通の認識をつくることからスタートするべきと考えました。そこで「十和田湖のお客さんが減ったのはなぜ?」「どうすればお客さんが増える?」をテーマに十和田湖畔住民との意見交換会を開催しました。

1. 意見交換会

6月25日は休屋地区の国立公園協会総合案内所で、6月26日には宇樽部地区の東湖児童館で行われ、合わせて30人のかたが出席。7月11日は地区の若い世代を対象に意見交換会を行いました。

たくさんの意見が出されましたが、主なものとしては、将来の方向性など全体に関する意見や景観や環境などに関する意見、サービスの向上に関する意見がだされました。

2. 今後の取り組み

市では、これらの取り組みを湖畔地区の住民に知らせ、参加してもらえるよう、「十和田湖畔再生ニュース」を作成し、湖畔地区の住民に配布しています。

また、市のホームページにこれまでの取り組みや「十和田湖畔再生ニュース」を掲載した、「十和田湖観光再生」のコーナーを設けましたのでご覧ください。

意見交換会で出されたすべての意見は「十和田湖観光再生検討会」の検討材料となり、必要性や効果を踏まえ実現に向けた検討を行います。実際に十和田湖を訪れる観光客の声などを参考にしながら、効果のある施策を実施していきます。

十和田湖観光の再生について、あなたのご意見をお聞かせください。十和田湖・奥入瀬を訪れた時の感想や改善した方がよい点など、何でも結構です。ファクスで企画調整課までお送りください。

問い合わせ先

企画調整課（☎②3 5111 内線 166・FAX ④ 9616）

<http://www.net.pref.aomori.jp/city/towada/machidukuri/towadakosaisei/top.htm>